

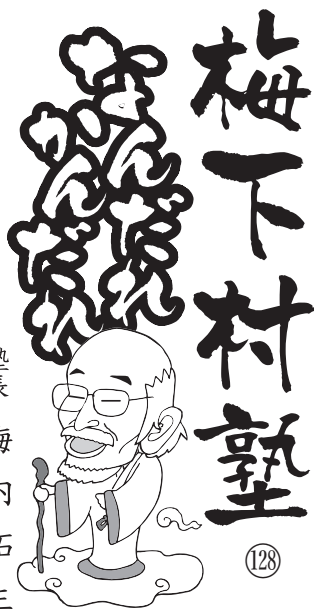
# 「森と水と命の惑星」国際会議

## ～地域と世界の心と魂を詠む～

「気仙の魂の奥に眠るもの」〜第一中学校文化祭の詠作品から〜  
 12月11日(木)の読売新聞の第1面に「TTP年内妥結できず 1月再会合 新时期も未定」と「20世紀最後の偉大な解放者 マンデラ氏追悼 世界から5万人」の記事が並んで掲載されている。これらの記事の奥には混迷を続ける現代世界の苦悩が浮かび上がってくる。

代文字文化が生まれて、輪廻転生や魂の世界は世界に広がった。インドやギリシャでは魂の世界への思想哲学の花が咲きだした。釈迦、ソクラテス、プラトンの教えはその後の形而上学的意識革命に引き継がれている。  
 12月7日(土)の第1面の「図書館でクリスマス気分 あす、1周年行事も 陸前高田」の記事のように西欧のクリスマス文化は伝わってきており、その魂は縄文蝦夷の魂と交流を始めている。

2年生の作品「一中



塾長 梅内 拓生

(128)

祭

(燃える心と力)

長縄の 悔しさ晴らし  
 最優秀 来年見せよう  
 さらなる飛躍

中2女子

悔しさに 次はと思う  
 先輩の 歌う姿勢を  
 心に刻み

中1女子

目指せ1位 けれど届  
 かぬ 我がクラス  
 歌に載せ 届け思い  
 この感情

中2男子

寒い中 響くみんなの  
 熱き歌

中2女子

学び継承したもの  
 を、さらに発展させる  
 情熱を友人と分かち合  
 う意気込みが伝わって  
 きますね。

返句

燃える心 思いは力  
 一中祭

(東海新報並びに他の  
 報道記事から)

12月7日(土)の第

一面の世迷言には「和食が無形文化遺産に登録された」ことに関する記事が掲載されている。無形文化遺産に登録された理由は何なのだろうか? 刺身、野菜など生の素材を生かしていることがそのひとつであるかもしれない。

縄文土器は祭りのため作られた器であるといわれているが、日常の生活にも使われたものと考えられる。縄文文化は「火」と「生」の料理文化、すなわち自然と人間世界の交流を活かした文化であると考えられる。

日本食文化はこの縄文文化の流れを受け継ぐものと考えるところの拡大と衝突が引き起こしている世界の現状の改善に一服の清涼剤を与えるものと考えられる。気仙の和食文化の発掘に期待しております。